公民館報
川口町公民館報
号外
発行人 古田島 正
編集人 金子 真
印刷所 山彦常印刷所

盛大に落成の式典

―十日町ニット川口縫製工場―

旧中山電話中継所が十日町繊物工業協同組合によって、改装され、従業員の確保等諸般の準備が完了し、十日町ニット株式会社川口縫製工場として去る四月一日操業を開始いたしました。

飯山線の分岐点であり、鉄道の要衝である川口町と十日町市の経済文化の交流は古くから期待されておりましたが、今ここに実現の第一歩を踏み出したことは誠に喜ばしい限りであります。

町の産業開発の先端をゆく、この工場の落成式が去る五月十五日川口町役場議場において、会社側幹部並びに従業員の父兄及び十日町市、川口町の関係者約一五〇人が参加せられ、盛大に行われました。

たまたま川口町より十日町、口縫製工場全幹部の諫容が整ったわけです。

昨年十一月旧電話中継所跡、町に設置することを決定し、内部改造を完了しました。内部は事務室、デザイン室、裁断室、縫製工場、原反倉庫、製品倉庫、ボイラー室、食堂ロッカールーム、休憩室からなっています。

工事の方も予想外の小費で予定通り進行し、三月二十日

(工場正面)

土地約二千坪、建物約三百坪を譲り受けたわけです。

十二月に入り、工場内部設計を東京重機縫製能率研究所に依頼し、設計図の完成を待って川口町関建設、丸山電気工事で内部改造に着手しました。

一方では、川口町長をはじめ役場の皆様の熱意ある協力を得まして女子作業指導員四名を決定し、一月から三月まで約三ヶ月間に亘って岡村株式会社池袋縫製工場へこれを派遣しました。

二月に入り、技術管理者、デザイナー、縫製裁断技術者の招へいを決定し、ここに川口縫製工場の開所式を迎えたわけです。

(役員をのべる関口町長)

種機については、縫製工場として最も近代的なベルトコンベアーシステムの採用を決め、ベルトコンベアーとシンクロシステムの併用によって能率作業体制を敷きました。

設備はコンベアーの外、本縫ミシン、特殊ミシン等合せて三〇台、その他電気、蒸アイロン一四台、ステーム

ボード二台、その他の附帯設備となっています。

作業員も三月下旬に全員採用を終り、男子五名、女子三十六名の総勢四十一名の決定を見て、最初の予定通り四月一日に開所式を迎えたわけです。

現在は十日町繊物業者の協力を得て、各工場の作業服を縫製しておりますが、既に和装ニット製品の試作も完全に終り、関連商社との強力なタイアップの下に六月操業ペース稼働を目標に着々進行しています。恐らくこの七月は十日町ニット川口縫製工場のニット製品が東京一流デパートの店頭を飾ることになるでしょう。

この川口縫製工場はこれまでは人の熱意と善意によって極めて順調な経過をたどって参りました。

今後従業員は打って一丸となってこれ等の善意に報いるために「和」の精神で十分その成果を挙げる覚悟でおります。

(工場内部)

川口町の皆様の御支援に多大な熱意を表するとともに、私達一同は心をひきしめて、一層の努力をすることを御約束致します。(M)

天皇 皇后両陛下御通過

―新潟国体に御臨席―

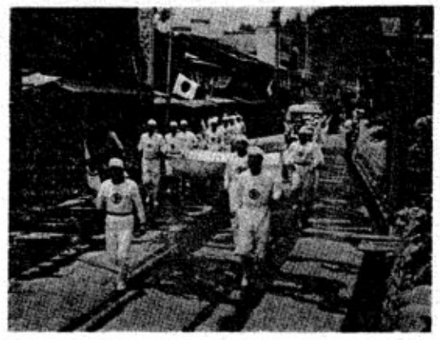
第十九回国民体育大会に御出席のため六月五日午後一時五十八分お召列車で川口を御通過になられます。

上越線の沿線はもとより各家庭での国旗の掲揚をお忘れずにおねがいいたします。

なお主なご日程は次の通り。

六月六日 佐渡御視察
七日 佐渡ヨット競技
八日 長岡 バスケット
九日 高田でフェンシングを

それぞれご覧になり、十日赤倉観光ホテルに御泊り十二日応御滞在になられ、十二日田口駅より御帰京になられます。



赤痢予防 懇談会開催

住民課では次の日程で赤痢予防の懇談会を開催することに決定した。当日は診療所の栗原先生、保健婦が中心になって映画を上映し、そのあとで赤痢予防に対する話し合いを行なうことになっている。

日程は次の通り。

六月十日午後八時 校場
六月十一日 〃 農協

(予定)

堂々と国体旗リレー

新潟国体の開会を目前にした去る五月二十日、二十二日の二日にわたって大会旗リレーが川口町を通過した。

沿道ではなやかな歓迎の中を名士をはじめ、各中学校生徒代表、商工会、青年会協議会員と、夫々のユニホームに身を固め足どりも軽く完走した。

歓迎は川口小学校、桑水小学校の鼓笛隊、川口中学校の二百のブラスバンドの演奏は素晴しく旗リレーに劣らぬ応援があった。各家庭の国旗もきちんとかかげられ、五月の風にひるがえりあざやかに大会旗リレーを一層盛りたてた。

六日から十一日の大会開催期間中は各家庭で国旗の掲揚を是非お願いしたい。

新潟国体 プログラム

開会式

日時 6月6日(土)11時入場締切

場所 新潟市
新潟県営陸上競技場

閉会式

日時 6月11日(木) 13時

場所 新潟市
新潟県営陸上競技場

会場地	種目	6月7日	8日	9日	10日	11日
新潟市	陸上競技	○	○	○	○	○
	体操	○	○	○	○	
	軟式庭球	○	○	○	○	
	相撲	○	○	○		
	蹴球	○	○	○	○	○
	ラグビーフットボール	○		○		○
	レスリング	○	○	○	○	
	ライフル射撃（ピストル）		○			
	馬術	○	○	○	○	
	高校野球（硬式）	○	○	○	○	○
村上市	剣道	○	○	○		
新発田市	バレーボール	○	○	○	○	
	軟式野球（一般準硬式）	○	○	○	○	
笹神村 水原町	ライフル射撃（エアースモールボア）			○	○	
新津市	ボクシング	○	○	○	○	○
	高校野球（軟式）	○	○	○		

会場地	種目	6月7日	8日	9日	10日	11日
巻町	ホッケー	○	○	○	○	
黒崎村	ウェイトリフティング	○	○	○	○	○
弥彦村	自転車	○	○	○	○	○
	クレー射撃	○	○	○	○	
加茂市	柔道	○	○	○		
三条市	バドミントン	○	○	○	○	
	弓道	○	○	○	○	
長岡市	バスケットボール	○	○	○	○	○
柏崎市	ハンドボール	○	○	○	○	○
	軟式野球（一般軟式）	○	○	○	○	
柏崎町	庭球	○	○	○	○	○
東江津市	卓球	○	○	○	○	○
高田市	ソフトボール	○	○	○	○	
	フェンシング	○	○	○	○	○
岡津市	漕艇	○	○	○	○	
	ヨット	○	○	○	○	○
新発田市 関川村 高川村 荒瀬町	山岳	○	○	○	○	○

川口町公民館報
公民館報
第68号
発行人 古田島 正
編集人 金子 真
印刷所 山梨常印刷所

学校建築補助坪数きまる

川口中 二七坪 五八六、三〇〇円
田麦山中 三六坪 七八一、七〇〇円

本年度新増築計画の川口中学校金工室、田麦山中学校の普通教室、技術室に対する国の補助内示が去る十三日教育庁中越出張所で行なわれた。

全事業坪数は川口中学校三室三十坪、田麦山中学校二室四十坪でほかに同中学校では職員便所、玄関等を新増築することになっている。

議会は去る六月十一日これの新増築に対する経費四百四十五万円を計上し契約着工の運びとなった。完成は両校とも十一月末日と予定し、川口中学校は来年度学級増にそなえての増築と技術科教室の設置がなされるわけである。

なお建築計画の建物の配置図を参照いただきたい。

本年は当町に於いて社会教育委員を設置することになり私共が委員に任命されましたいわけでございます。

国民教育と社会教育も要はこの懇願達成を目標として行なわれているわけでございます。昔から「よく学べ、よくうことは、健全なる心身と伸び伸びした明るい人間を育てることであり、明朗な町づくりのために最も大切なことであります。

駆足除等越権事情がありますが、これは現在入学試験とか就く働き、よく遊ぶ」、これが明朗な人生といえるでしょう。ごく平凡なことですがこんなことの中に今後の社会教育の位置づけ、方向づけをすることも軽視しなければなりません。

大人の場合でも同様、「よく行なう離し」といわれている通り、実行するには経済の問題、時間の問題、その他種々の障害があり、困難のあるものの他、定められた用途以外に使用したことによるものであります。

県におきましても危害防止に万全を期するため、「農薬危害防止運動月間」を六月、稲の手も借りたい田植えも七月を実施期間として有機燐剤の適正な使用法、管理等周知徹底を期して居りますので左記事項に充分注意する様願います。

①農布散途中で喫煙したり、農薬の付着した手を洗わずに飲食しないこと。

②不健康状態の人は散布に従事しないこと。

③素手、素足及びマスクを着用し、服装を完全にして散布すること。

④農薬に対する知識が中途半端で、取扱を粗雑にしたり炎天下長時間散布作業に従事しないこと。

⑤実施指導員、防除班長の指導のもとに散布し、勝手に散布しないこと。

⑥作業後酒を飲んだり、夜ふかしをしないこと。

⑦作業後は強品を必ず防除班長に返すこと。

⑧空容器は土中に埋没又は焼却すること。

⑨散布後七日間は防除区域に立入らないこと。

⑩めまいがしたり、頭痛がしたり、気分が少しでも変になったら速かに医師の診断を受けること。

川口町防除協議会

農薬の危害防止について

新しいPTA活動をめざして

七月七日 町PTA研究会開催

町PTA研究会も回を重ねておりますが、会員研修としてそれぞれ得るところ大なるものがあったと思われます。

本年は、川口小学校PTAが当番で「新しいPTA活動はどうあるべきか。」を主題として来る七月七日に研究会を開催いたします。

研究討議は次の四分科会にわかれて行いますが、ふだん会員各位が子どもをめぐって感じておられるいろいろなことをもとにして話し合いを深めたい、ということですから気楽に多数御参加ください。

○第一分科会
子どもを正しく理解するにはどうしたらよいか。

○第二分科会
これからの家庭教育はどのようにしたらよいか。

○第三分科会
生活環境を整えるため、PTAはどのように活動したらよいか。

○第四分科会
子どもの健康教育、安全教育についてPTAはどのようにしたらよいか。

一、講演会講師
新潟日報論説委員
中沢 惣吉 氏

二、助言者
中越出張所社会主事
町社教主事 金子真氏

三、日程
○受付 八、三〇
○開会式 九、〇〇
○PTAの歌、単位PTAの発表 一〇、三〇
○分科会 一〇、三〇～一二、〇〇
○基調レクリエーション 一二、〇〇～一、〇〇
○全体会 一、〇〇～二、〇〇
○講演 二、〇〇～三、三〇
○閉会式 三、三〇～

私は見た

暖る日の午後、保育園の出入口の横断歩道での出来事。片側へ四人ばかりの幼児が居たが、その中の一番年上らしいのが、片手をほんの少し上げて横断する気配をなした折しも先って来た自動車が自線の前でピタリと停る。子供達は道路を横断するより、いたずらして車をとるのが、又は、はたして車がまるかをテストするのが目的らしく両足げに、且つてれくさい顔で逃げ去ってしまった。

私はみた、正しい運転が行なわれたのを。(これは私の知っている川口町の若い運転者であるが)そしてすべての車が皆こうあって悪しいと思う。

若し川口町を通過する長距離大型車がバタ通して来るのに今の四人の幼児の年下のがマネした場合、果して安全でしょうか。果して自線の前で停止出来るだろうか。

私が今までみている所では川口町民の運転者は、ほとんどすべて道路交通法のスピードの安全運転であるが、さすが国道だけあって川口でない車で馬しすぎると思われるスピードの車が実に多い。

車だけなく人も安全交通して欲しい時代であり、和の運動はもっと〳〵すべきであるが、せめて車だけでも人間をひく心配のない運転をして欲しいと思う。

くりかえして云う、川口町の運転者は安全運転をしている。しかし過半数の界隈車のスピード運転の恐怖こ対して我々町民は自分の子供に「自動車がアブナイからウラ町中町を通って行くよう」毎日くりかえし注意するより以外に手はないのである。

昌野記者

上手な手洗いで
赤痢を予防しましょう

赤痢の予防法は、いろいろありますが、そのうちでもっとも大切なことは、クレゾール三%液で手洗いを励行することです。

手洗いの上手な方法は次のとおりですから、これを確実に励行して赤痢にならないようにしましょう。

記

一、便所に入ったあと
二、食事や、おやつの前
三、調理の前
四、外から帰ったあと
五、その他、手がよごれたとき

家庭学習及び小づかいについての調査
―川口中学校―

この調査は六月十九日に実施したものである。

項目はこの他にもあるのだが新聞の都合で省略したが、ただ調査の結果を見るにとどまることではいけない。この調査は以前より新鮮されてきたし今後なお続くだろうが、この調査の該当生徒の家庭の成員たちが、見るだけ、あるいは聞くだけではいけない。これをよくみてわが子はどの位置にいるのかをたしかめ、親として、兄として、姉として、の意見をもち、態度を明らかにすることが考えられねばならない。

近時家庭教育の必要性、重要性が特に強くとなえられている。いうまでもなく家庭教育本来の性格は「しあわせを目指し、社会の発展に即し、家庭を場として、家族相互の間に行なわれる教育」である。

たしかに家庭教育の範囲は広い、加えて社会の変動に伴い親は子供たちの変化についていけなくなる、したがって子供は学校まかせとならざるを得ない、そんなことではいけないんだと、この調査をとおして家庭の成員が新たな自覚をもつことを祈ること切である。

子供を家庭にもどし、みんなの家庭でしなければならない子供の教育の必要を強く感じなければならないと思う。

家庭教育は子供を育てる成人のための教育でもあるのだから。

五記者

家庭における学習時間をほとんどもたない生徒もいる、理由もあろうし、原因も明確だろう、だからといって放っておけない問題のように思う。

項目		1年 男	1年 女	1年 計	2年 男	2年 女	2年 計	3年 男	3年 女	3年 計	合計
毎日平均何時位勉強しますか	ほとんどない	5	1	6	7	4	11	3	4	12	29
	30分位	9	2	11	26	10	36	24	11	35	82
	1時間位	23	13	36	19	31	50	32	16	48	134
	1時間半位	15	16	31	16	14	30	14	18	32	93
	2時間位	15	27	42	11	10	21	22	15	37	100
	2時間半位	5	15	20	3	5	8	9	7	13	41
	3時間位	4	6	10	0	1	1	6	1	7	18
	3時間半位	0	1	1	1	0	1	1	3	4	6
	4時間以上	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
日曜日の学習時間はどのでしょうか	ほとんどしない	4	2	6	1	1	2	15	1	16	24
	30分位	7	3	10	8	6	14	19	6	25	49
	1時間位	8	3	11	14	14	28	22	14	36	75
	1時間半位	21	14	35	18	12	30	12	12	24	89
	2時間位	6	13	19	17	18	35	17	18	35	89
	2時間半位	8	10	18	9	12	21	10	12	22	61
	3時間位	4	21	25	7	13	20	9	13	22	67
	3時間半位	1	3	4	2	1	3	3	1	4	11
	4時間以上	0	7	7	3	3	6	3	3	6	19
小づかいの使い方	月1,2回にまとめてもらう	21	24	45	31	11	42	28	32	60	147
	必要のときもらう	71	90	161	52	62	114	32	39	71	346
学校の必要な費用は必ずもらえる	知っている	73	73	146	74	70	141	99	62	161	348
	知っていない	7	4	11	14	2	16	8	9	17	44
今いくらいるか、必要以外の金を持っている	持ってきていない	60	50	110	37	38	75	62	34	96	281
	50円以下	20	19	39	25	23	48	31	31	62	149
	500円以下	3	8	11	14	9	23	24	9	33	67
	1000円以下	1	2	3	1	1	2	1	1	2	7
	1000円以上	0	0	0	0	1	1	7	0	7	8
学校での保管金の方法	すぐ先生にあずけていた	8	13	21	17	19	36	12	4	16	73
	自分でもっていた	55	41	96	56	35	91	83	62	145	332
	その他	16	18	34	11	9	20	9	4	13	67

調査人員 1年生 158人(E組を含む) 2年生 158人 3年生 188人

雑詠

関 汀風女

梅雨じめる駅の腰かけゆづり合い
梅雨空や北海道の旅さそはるゝ
雨の桑軒に吊して蚕屋暗き
道ばたに早苗車を片寄せて
早苗売の十一人の譜部かな
さなぶりや炉辺もくりやもにぎやかに
さなぶりの総勢並ぶテレビの間

明るい町づくりのために

川口町社会教育委員長 山吉玄蕃

遊べ」という事が言われておりますが、よく学ぶという事については実に教育が充実しできて、父兄の皆さんも子弟の教育に対してほんとうに一生懸命になっておられます。

次に誠に平凡なことでございますが尊重を述べまして皆様方の御批判を仰ぎたいと存じます。

終戦後の日本は、平和にして明朗なる文化国家の建設が日本国民全部の懸願であろうと思います。この声は当川口町においても勿論全部の力々の懸願であることには変りないわけでございます。

この懸願達成を目標として行なわれているわけでございます。昔から「よく学べ、よくうことは、健全なる心身と伸び伸びした明るい人間を育てることであり、明朗な町づくりのために最も大切なことであります。

明朗な人生といえるでしょう。ごく平凡なことですがこんなことの中に今後の社会教育の位置づけ、方向づけをすることも軽視しなければなりません。

大人の場合でも同様、「よく行なう離し」といわれている通り、実行するには経済の問題、時間の問題、その他種々の障害があり、困難のあるものの他、定められた用途以外に使用したことによるものであります。

県におきましても危害防止に万全を期するため、「農薬危害防止運動月間」を六月、稲の手も借りたい田植えも七月を実施期間として有機燐剤の適正な使用法、管理等周知徹底を期して居りますので左記事項に充分注意する様願います。

①農布散途中で喫煙したり、農薬の付着した手を洗わずに飲食しないこと。

②不健康状態の人は散布に従事しないこと。

③素手、素足及びマスクを着用し、服装を完全にして散布すること。

④農薬に対する知識が中途半端で、取扱を粗雑にしたり炎天下長時間散布作業に従事しないこと。

⑤実施指導員、防除班長の指導のもとに散布し、勝手に散布しないこと。

⑥作業後酒を飲んだり、夜ふかしをしないこと。

⑦作業後は強品を必ず防除班長に返すこと。

⑧空容器は土中に埋没又は焼却すること。

⑨散布後七日間は防除区域に立入らないこと。

⑩めまいがしたり、頭痛がしたり、気分が少しでも変になったら速かに医師の診断を受けること。

川口町防除協議会

行政相談の窓口御案内

私達は役所のやり方について、納得出来ない事が数々あります。この不平不満を解決してくれる「行政苦情相談」の制度があります。どなたでもはすでに公民館活動において学校教育においても実行されていることでありますが、尚一層伸展するよう期待するものであります。

尚当町においても町長参畑の折りではございますが、平和で明るい町づくりのため、運動施設、音楽その他の娯楽施設、訳しは町民の研修の場である公民館の建設等には出来る限り予算を年々計上されまして一日も早くこれらの施設完備される事を希望して止みません。

この制度を気軽に利用できるよう新潟行政監察局および行政相談委員のところに窓口を開いておりますから、ご遠慮なく、お申し出で下さい。

○例えばこんな苦情を〆

国の行政機関又は国の委任及び補助にかかる業務で、

・社会保障の問題(生活保護、神衛生・結核の社会保険)

・母子福祉・児童福祉・精

・恩給等(文官及び軍人恩給)

・軍人遺家族及び留守家族の援護)・農地・治水・道路

・河川・港湾・災害復旧

・農業災害・教育・衛生・

・登記・税金・郵政事業・国

・鉄・公事・公団・事業団等

の業務

「註」民事・刑事の裁判事

・金銭の貸借のもつれ・家

・庭内のもめごと・住宅のあっせん・結婚相談などは)

○窓口の住所氏名

新潟行政監察局
新潟市川岸町一ノ三八
行政相談委員
川口町大字川口五六三
大瀬省吾
電話川口一三九番
川口町役場内
市町村連絡担当者
川口町役場内
総務課長 岡村賢吾
定期相談所
定例日 毎月十日午前九時より午前中
場所 川口町役場

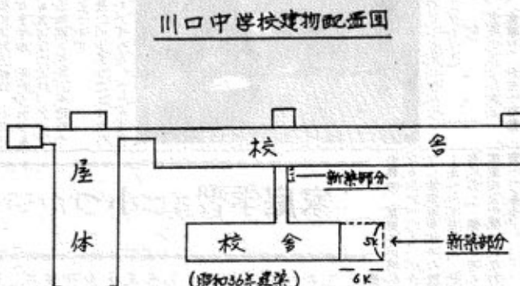
福祉年金についてお知らせ

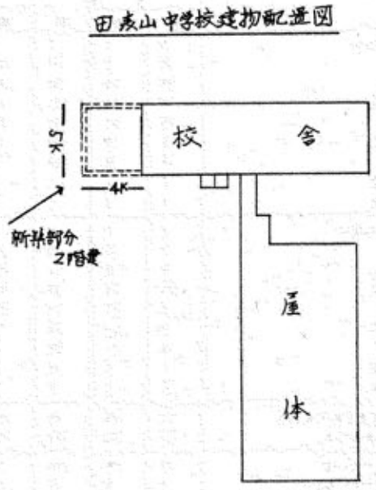
国民年金法によるところの福祉年金を受けている人は、現在全国で三百万人をこえ、本県においても九万余人の多きに達し、増加の一途をたどっております。

この福祉年金は、住所地の都道府県知事に対してこれを受けようとする人の請求によって支給されることになっております。ところでこの請求をする権利は年金を受けることができる状態になってから五年以内に請求しないと時効により消滅し、将来永久に年金が貰えないことになります。

例えば、昭和三十四年十一月一日当時満七十才以上の老令者であったとか、一家の生計中心者である夫と死別し母子状態にあったとか、病気やけがなどで重度の身体障害者であったとかという人々で、いままでに福祉年金の請求をしたことがない人は、本年十月三十一日までに請求しないと新角の年金も貰えなくなりますのでこのような人々は早急に役場に御相談下さい。

★ ☆ ★ ☆





新潟地震の被災者に同情を寄せましょう

六月十六日突如として本県を襲った地震の被害は、幸い当町においては、極めて軽微でありましたが御存知のように県都新潟市においては誠に惨たんたる状況であります。

私共は、被災者の皆さんが一日も早く通常の生活にかえられるよう、祈ってやみません。町では六月十九日星野助役と育園会議長が現地に赴き、水炊一五〇俵を贈りました。なお、次の団体ではそれぞれ義援金を贈りました。

一金九千円町軍恩連合会一同
一金一万円 町社協へ寄託一同
町役場職員一同
新潟日報へ寄託

防犯映写会

小千谷警察署の後援により、防犯映写会を開催しますから多数御観覧下さい。

七月八日星一時・木沢小学校
七月八日夜八時・西川口公民館

◎入場無料
◎劇映画 群長一本やり

町民野球大会中間成績

六月十三日より開催されている町民野球大会は現在熱戦を展開しているが今までの各チームの成績は次の通り

一回戦

武道館青年10－3川口駅
役場17－2ニュースターズ
ニューイングランズ8－7東部青年会

二回戦

高校生 4－0 川口農協
教職員 11－4 武道館
無選手 日に試合を続行する

川口祭礼

花火とりやめ

新潟地震のため、七月の川口祭礼の花火はとりやめに決定した。町商工会では義援金をまとめ連合会を通じて被災者におくることになっている

救援物資の取り扱いについて

このたびの新潟地震により被災した新潟市民への救援物資の取りあつかいは七月五日迄ですから期日厳守の上、町教育委員会へおもちさるようお願い致します。